

第6章

岐阜市のまちなみ









1 長良川周辺

清流長良川の両岸は、鵜飼や岐阜城・ 岐阜公園のほかにも古いまちなみや異彩 を放つ建築物など魅力的な散策スポット で溢れている。長良川や金華山などの自 然を満喫しながら、これらのまちなか歩 きをしてみるのも面白い。



岐阜城から見た長良川

長良川温泉

清流長良川のほとりに点在する「長良川温泉」。泉質は単純鉄冷鉱泉(中性低張性冷鉱泉)で、

赤褐色のにごり湯が特徴。リュウマチ性疾患、慢性疾患 および苔癬に効果があるといわれている。ホテル・旅館 では新鮮な鮎料理はもちろん、ヘルシーな薬膳料理など も堪能することができる。また、旅のプロが選ぶ「にっ ぽんの温泉100選(観光経済新聞社主催)」総合ランキン グにおいて2011年度から11年連続入選し、過去の最高順 位は28位である。その他、「温泉総選挙2017(うるおい 日本プロジェクト主催)」の女子旅部門において、1位 となった。





| 川原町界隈

岐阜市において、江戸時代からの古いまちなみが最も まとまって残っているのが川原町である。明治24(1891) 年の濃尾大震災や、戦争の被害を免れたため、江戸時代 から明治時代の格子戸の商家・町屋が見られる。平成23 (2011) 年から平成29 (2017) 年にかけて、岐阜市が景 観法に基づき川原町界隈の建造物14棟を「景観重要建造 物」に指定した。「川原町」は、現在の湊町、玉井町、 元浜町などの総称である。最初に川湊をつくったのは、 斎藤道三とされ、それ以降水運が盛んになり、長良川上 流からは木材・竹材・美濃和紙などが集まり、材木問屋 や紙間屋が並んだ。



●景観重要建造物

地域の自然・歴史・文化などから見て、外景観 上の特徴をもつ建造物や地域の良好な景観を形成 する上で重要な建造物。

鵜飼い大橋

名称の「鵜飼い大橋」は、一般公募の中から決めら れた。斜張橋は、主塔は「鵜匠」を、ケーブル線は「手 縄」をイメージして造られており、橋長は469m、幅 員は28.3 ~ 29.1m。

夜はライトアップされ、鵜飼の開催期間は涼しげな 青色系に、開催されない期間は暖かさを感じさせる赤 色系の光に橋が包まれる。ただし、鵜飼を行っている 時間帯は消灯している。



トピックス

岐阜芸妓

現在14名(令和4年7月現在)ほどの芸妓さんが芸を披露している。平成3(1991)年 には岐阜商工会議所を中心にして岐阜芸妓振興会が発足し、芸妓さんを支援するようになっ た。毎年「岐阜をどり」を開催しているほか、平成20(2008)年から「道三まつり」の行 列に手古舞を披露するようになった。検番でもある芸妓組合の事務所には稽古場があり、 芸子さんたちが毎日のように三味線、踊り、長唄、小唄、清光、鳴り物(笛、太鼓)など の稽古に励んでいる。普段は、長良川周辺の旅館や舟上、柳ケ瀬の飲食店などで活動して いる。

→ 逆水樋門

川原町は、以前大雨で長良川が増水すると浸水被害を受けやすかった。 そこで、忠節用水に逆水樋門を設置し、長良川本流による浸水を防ぐよ うにした。





ロボット水門

昭和初期、鏡岩に忠節用水が付け替えられた際、水防・放水量調 節のために造られた。改修時に頂部に円錐が加えられ、丸い窓と共 にロボットのような愛嬌のある外見となり、「ロボット水門」と呼 ばれ親しまれている。岐阜県近代化遺産に選ばれている。





湊コミュニティ水路

「湊コミュニティ水路」は、長良川の清流を引き込んだ忠 節用水の放水路沿いに設けられている。藤棚をくぐる散策 道・デッキ・八ツ橋・滝組前の沢飛石・親水階段・玉石・季 節に応じた植栽などを配し、水に親しめるようになっている。 水路自体も魚の棲める深みをつくるなど配慮がされている。 岐阜市内には他にも、清水川、早田川、西野町にコミュニティ 水路等がある。





世界イベント村ぎふ

長良川河畔には、長良川国際会議場、岐阜メモリアルセン ター、長良川スポーツプラザなどがあり、総称して「世界イ ベント村ぎふ」と呼ばれている。個性的な施設が集まった、 10万人規模のイベント複合施設である。



長良川国際会議場

長良橋下流の右岸にある国際コンベンション施設で、都ホ テル 岐阜長良川に隣接している。設計は世界的に著名な建 築家・安藤忠雄氏で、巨大な卵を抱いたかのような外観は、 ひときわ異彩をはなっている。メインホールは、会議・講演 会・コンサート・演劇・ファッションショーなど多彩なイベ ント・コンベンションを可能にするため、舞台や客席が変化 する可動床システムを採用している。



※ ぎふ木遊館

岐阜県の豊かな森林の恵みを体感し、森林に誇りと愛着を 持ち、守り育てる人材を育む「ぎふ木育」を推進するため、「だ れでも」「いつでも」ぎふの木を核とした「遊び」「学び」「交 流・連携」「創造」「発信」のサービスを享受できる総合的な 拠点として令和 2 (2020) 年 7 月17日にオープンした。

館内には、県産材でつくった10種類の大型遊具や100種類 以上のおもちゃで子どもからおとなまで幅広い年齢が一緒に 遊ぶことができる「木育ひろば」や、2歳未満の子どもとそ の保護者専用の「赤ちゃんひろば」などがある。



トピックス

FC岐阜

平成13 (2001) 年から活動をスタートしたサッカーチーム「FC岐阜」は、 平成19 (2007) 年12月3日に J リーグ入会が承認され、岐阜県内初のプロチー ムとなった。岐阜メモリアルセンター、長良川競技場を本拠地にしている。



岐阜スゥープス

岐阜スゥープスは、平成15(2003)年から活動しているバスケットボール チーム。平成30 (2018) 年にBリーグ入会が承認された。OKBぎふ清流ア リーナを本拠地としている。



2 JR岐阜駅周辺

岐阜駅北口駅前広場は、県都岐阜市の 玄関口にふさわしい魅力あるまちづくり を進めるため、平成21 (2009) 年に完 成した。

当広場は、約26,500㎡と全国有数の 面積を誇っており、この広大な面積を活 用し、交通結節点としての機能強化のみ ならず、にぎわいの発信基地として人が 集い、そして駅から街へと人の流れを創 り出すため、歩行者用デッキ等の施設を 効率よく配置している。

また、広場の中央部やデッキの上には、 イベントなどに利用できるにぎわい空間



JR 岐阜駅北口駅前広場

を設けるとともに、「杜の駅」のコンセプトのもと、県内に自生する桜をはじめとする様々な樹種を植 栽し、緑豊かでゆとりある空間を形成している。

現在広場では、毎年恒例のイベントが定着し、週末を中心に開催される様々なイベントにおいても多 くの市民が参加し、にぎわいの創出に大きく寄与している。

黄金の織田信長公像

平成21 (2009) 年9月に、岐阜市制120周年を記念して、市民の 寄附により IR岐阜駅北口駅前広場に「黄金の織田信長公像」が建 立された。台座までの高さは約8m、像の高さは約3mで金箔3層 張りとなっている。

マントを羽織り、右手に種子島(鉄砲)、左手に西洋兜を持ち、 まっすぐ前を見つめる「黄金の織田信長公像」は、常に時代の最先 端を歩き「変革」を目指した信長公の姿を象徴しており、都市再生 を図る岐阜のまちの未来を表現するものとなっている。



JR岐阜駅南口

金華山をはじめ岐阜県内の自生樹種の「緑」などを 基本テーマとする北口に対し、JR岐阜駅南口は飛山 濃水(飛騨の山々、濃尾の水)を基本テーマにし、風わ たる駅前広場は樹木の緑があふれ、せせらぎの流れが さわやかなアプローチ空間をうみだすとともに、利用 者に快適さと便利さを提供している。



丸窓電車

丸窓電車(モ510形)は、大正15(1926)年に製造され、 戸袋の窓が楕円形であることから「丸窓電車」の愛称で多く の市民や鉄道ファン等に親しまれ、平成17(2005)年に路面 電車が廃線になるまで市内を中心に運行していた。

平成31(2019)年3月28日に市の重要文化財に指定されて おり、令和元(2019)年にJR岐阜駅北口駅前広場の完成10



周年を節目に、平成18(2006)年より保存されていた金公園から駅前広場に移設された。



アクティブG

IR岐阜駅高架下にあり、ファッションやアート、クラフト、 デザインの分野で活躍する匠たちが集う「TAKUMI工房」 を中心とした施設で、「見る」「買う」「創る」という3つの 魅力を備えたアート拠点となっている。食の楽しみが満喫で きる「楽市楽座」やスポーツクラブも備えた交流空間として 注目を集めている。





↑ ハートフルスクエアーG

市民が気軽に利用できる生涯学習の拠点。IR岐阜駅の東 側に隣接して、1階には岐阜市立図書館分館、体育ルーム、 女性センター、2階には生涯学習センター、岐阜市平和資料 室などが設けられている。また、ここには生涯学習・ボラン ティア相談コーナー、あんしんつながりステーションもある。





岐阜市観光案内所

IR岐阜駅2階にあり、岐阜市の観光案内とともに、観光 パンフレット・ガイドマップなどを配布している。案内所内 には岐阜市の特産品の岐阜提灯や岐阜渋うちわなども展示し てある。





★ 鮎の駅・清水川

IR岐阜駅の南側を流れる清水川は水がきれいで水量も多 いため、アユ・ギンブナ・オイカワなどが生息している。こ れらの魚を身近に鑑賞できる施設としてIR岐阜駅南口につ くられたのが鮎の駅・清水川。川の延長100mの間、上下の 二層構造とし、上段にせせらぎを創出、清水川にすむ魚が上 れるように魚道を設置している。上り落ち漁の仕掛けなどを 見ることができる。



清水緑地

IR岐阜駅南口周辺を含む加納地区において、都心緑地を 創出する「清水緑地」が平成17(2005)年3月に完成。「ア ユが泳ぎ・ホタルが飛び交う都市緑地の創出」をテーマに、 公園を「ホタルの杜、サクラ広場、親水広場、歴史散歩道| の4つに区分し整備した。面積は約2.2haに及ぶ。



岐阜シティ・タワー 43

IR岐阜駅前という利便性の高い場所にあり、岐阜市の活性化を促進 する新たなシンボル。平成19(2007)年に完成した。住居を伴う複合型 タワーとしては中部圏で一番の高さ(163メートル)を誇る。

岐阜市が所有する最上階(43階)のスカイラウンジには、レストラン と、誰でも無料で楽しめる展望室がある。スカイラウンジへは、直通展 望エレベーターで約45秒で行ける。





▶ 岐阜スカイウイング37

平成24 (2012) 年8月に岐阜シティ・タワー 43の北側に完成 した超高層複合ビル。

270戸の分譲マンションをはじめ、岐阜大学サテライトキャン パスや商業施設が入る37階建の東棟、天然温泉を備えたビジネス ホテルやオフィスが入る11階建の西棟、409台を収容する自走式 立体駐車場の3棟で構成され、2階の高さで歩行者用デッキによ りIR岐阜駅と直結した利便性の高い施設である。

岐阜スカイウイング37と岐阜シティ・タワー 43が形成するツ インタワーは、県都のランドマークとなっている。





▼ 岐阜イーストライジング24

IR岐阜駅北口の東側に、平成31(2019)年1月に完成した超高層 ビル。商業施設、福祉施設、住宅で構成されており、2階には岐阜 市リモートオフィス (Neo work-Gifu) が入る。

JR岐阜駅と歩行者用デッキで結ばれ、名鉄岐阜駅、岐阜バスター ミナルに近接する好立地にあり、駅周辺に賑わいを生み出している。



↓ じゅうろくプラザ(岐阜市文化産業交流センター)

JR岐阜駅と歩行者用デッキで結ばれ、駅から徒歩数分に 位置する文化産業交流施設。定員600人のホールはファッショ ンショーなどにも利用できる。また、5階の各会議室はバン ケットサービスにも対応可能。そのほか各種研修室・スタジ オ・展示ギャラリーなどを備えている。

正式名称は「岐阜市文化産業交流センター」だが、株式会 社十六銀行がネーミングライツ(命名権)を取得し、「じゅう ろくプラザーの名称で親しまれている。





IR岐阜駅から少し足を伸ばせば、そこは明治時代から歴 史をもつ全国有数の繁華街「柳ケ瀬」。数百軒の商店や飲食 店があり、ショッピング、アミューズメントなどたくさんの 施設が揃う。昭和41(1966)年に発売された美川憲一が歌う 「柳ヶ瀬ブルース」の大ヒットによって、柳ケ瀬は一躍有名 になった。柳ケ瀬通りには歌詞が書かれたタイルが路面に埋 め込まれている。



トピックス

岐阜市シェアサイクル Gifu-ride

観光振興に資する二次交通手段を確立させ、さらなる誘客を図り、またその副次効果として、市民の 利用が促進されることを目的として、令和4(2022)年から運用を開始した。市内に22ポート(令和4 年8月現在)あり、利用者は専用のアプリで24時間シェアサイクルを借りることができる。

自転車の種類		定額料金	
	15分あたり	24時間あたりの上限	1日あたり
電動アシスト付き	50円	1,600円	1,000円
その他	30円	960円	600円



岐阜市観光ラッピングトラック

関東・関西方面を運行する中・遠距離トラックの荷台部分に、岐阜市の観 光資源である「ぎふ長良川の鵜飼」や「岐阜城」などをデザインしたシート を貼った「岐阜市観光ラッピング」が平成24(2012)年8月に完成した。令 和4年8月現在、10トントラック2台、4トントラック1台の計3台が走行 している。



信長バス

平成24 (2012) 年7月16日から、岐阜市内を走るバス路線「市内ループ線」で「信長バス」の運行を開始し、現在は9両が運行している。

同年9月下旬から開催された「ぎふ清流国体・ぎふ清流大会」の参加者、関係者などに広く信長公のまちづくりをPRするために導入された。

現在、運行している車両は2代目で、車体側面にはアニメ調の織田信長公が描かれており、岐阜を訪れる観光客を中心に親しまれている。



濃姫バス

令和3 (2021) 年5月6日から、JR岐阜・名鉄岐阜駅と柳ケ瀬商店街、岐阜市 役所を結ぶ「中心部ループ線」が新設され、「濃姫バス」として運行している。

車体には信長バスをデザインしたイラストレーターによって描かれた織田 信長公の正室・濃姫のイラストがラッピングされ、車の内装は着物を連想させる柄を装飾、窓上部には岐阜の濃姫が生きた時代背景が絵巻物風に紹介されており、「信長バス」とともに市内を走行している。



清流ライナー (連節バス)

まちの新たなシンボルとして、ひと際目立つ赤色のボディで 全長18mのバスが岐阜駅から各方面に走行している。

このバスは「連節バス」と呼ばれる中央の節の部分が折れ曲 る構造のバスで、通常のバスの約2倍の輸送能力がある。また、 低床で車内に段差が無く高齢者や車いすの方でも楽に乗り降りできる。



愛称は「清流ライナー」といい、平成23 (2011) 年 3 月からは岐阜大学病院線、平成24 (2012) 年 8 月からは市内ループ線、平成26 (2014) 年 3 月からは下岩崎線に導入された。

全4両のうち、2両の車両の天井には、清流・長良川で鮎が優雅に泳ぐ姿、1両の車両の天井には長 良川沿いの大パノラマが描かれている。また、もう1両は水戸岡鋭治氏のデザイン車両となっている。

路面電車

明治44 (1911) 年に美濃電気軌道として開業し、昭和30年代に は岐阜圏域70kmを超える路線網となり、岐阜地域の輸送を支えた。

最終的には岐阜市と関市、北方町、本巣市、大野町を結ぶ基幹 公共交通として、名古屋鉄道株式会社が岐阜市内線、揖斐線、美 濃町線合わせて計36.6kmを運行していた。

通勤・通学を中心に多くの利用があったが、利用者の減少が続き、名古屋鉄道が赤字を理由に撤退を表明し、平成17 (2005) 年3月で全線が廃線となった。



岐阜三輪スマートインターチェンジ

東海環状自動車道岐阜三輪スマートインターチェンジは、関広 見IC~山県IC間にあり、岐阜市の北の玄関口として令和2 (2020) 年3月20日に開通した。

主要地方道北野乙狩線と接続しており、ETC車載器を搭載した車両のみが通行可能で24時間利用できる。



岐阜三輪スマートインターチェンジの設置により、岐阜ファミリーパークの集客圏域拡大や、飛騨方面・ 東濃方面との都市間連携強化などの整備効果が期待される。

道の駅「柳津」

岐阜県内で44番目に開駅した道の駅。施設整備にあたっては、 既存のケヤキや桜の木を極力残した緑の中にある駐車場、建物の 屋上緑化、太陽光発電を一部取り入れた環境に優しいエネルギー の導入など、環境に配慮している。情報館にある大型ディスプレ イからは、道路情報や気象情報、災害情報などが提供されるほか、 観光情報を知ることもできる。物販館では、柳津地区の特産品の 佐波いちごや、いちごの加工品などが販売されている。

また、展望施設もあり、施設の高さ8.712mは「やないづ」の 語呂合わせになっている。



3 中山道

江戸時代のはじめ、徳川幕府が整備し た五街道の1つが中山道。うち、岐阜県 を横断する道は美濃中山道と呼ばれる。 岐阜市内は12kmほどの道程で、美濃中 山道最大の加納宿と長良川右岸(西岸)の 河渡宿の2つの宿場町があり、史跡や物 語が残されている。



中山道

加納宿

中山道の宿場町でも数少ない城下町で、美濃中山道十六宿*の中で最大規模の宿場だった。現 在でも、随所に道標や碑があり、往時を偲ぶことができる。

(※平成17年の市町村合併により、長野県山口村が中津川市と越県合併したため、岐阜県内の旧宿場町は馬籠宿を含む十七宿と なったが、馬籠宿は木曽路であるため、美濃中山道としては十六宿となる。)

■切通陣屋跡

名鉄切通駅の近くの中山道沿いに切通観音がある。あ たりは元加納藩主であった磐城平藩の安藤信明(信成)が 切通陣屋を置き、この一帯をはじめ方県郡や本巣郡に あった自領を支配したところ。ここから加納の茶所にい たる中山道の沿道には、今も古い町屋があり、懐かしい 雰囲気をかもしだしている。

■細畑の一里塚

徳川幕府は、当時の主要道であった中山道、東海道な どの五街道に里程標として1里ごとに塚を築かせ、そこ に榎などの木を植えさせた。それが一里塚で、細畑の一 里塚は中山道沿いに南北が対になって残っている珍しい もの。戦時中には荒れ果てていたが、戦後に整備し、現 在の姿を保っている。

また、河渡などには一里塚の跡がある。



■鏡岩の石碑

江戸の大相撲でならした鏡岩浜之助の子、2代目鏡岩が悪行を 反省して、茶の接待所を建て「ぶたれ坊」という像を置いた。「ぶ たれ坊」は旅人に棒で打たせ罪滅ぼしを図ったといわれるもので、 現在は加納の妙泉寺に移されている。また、茶をふるまったので、 この地を「茶所」というようになった。鏡岩の碑の傍らには東海 道や伊勢、熱田方面を案内する道標が残っている。



■加納天満宮

菅原道真をまつった古い神社で、慶長6 (1601) 年に現在の地に移された。加納藩代々の城主の信仰も厚く、今も「加納の天神さま」として親しまれている。拝殿には牧田種磨の「三十六歌仙、六歌仙及び松梅額面」も掲げられている。例祭や初夏のみそぎ祭り、提灯祭りなどには多くの参拝者で賑わう。



●鏡島弘法 [乙津寺]

木造千手観音立像をはじめ、国指定の重要文化財を三体所蔵する古いお寺。一般には「鏡島の弘法さん」として親しまれ、毎月21日の縁日には多くの人々で賑わう。寺の歴史は古く、弘仁4(813)年弘法大師が嵯峨天皇の命を受けて建立したと伝えられている。その後、長良川の大洪水や戦火などで荒れ果てたが、天文14(1545)年に鏡島城主・石河駿河守光清によって再興された。昔から京都の東寺、



神奈川の川崎大師とともに日本厄除け三弘法の一つとされている。

■**久運寺**

加納天満宮の西側にあるお寺で、天正年間作の仮名草子「因果物語」にも登場する。この寺では、寛文5(1665)年、加納藩主の松平光重がこの寺の住職の玉葉和尚に「お茶壷道中」の本陣を命じたが、それを断ったため住職を追放処分にするという事件がおきた。当時は、幕府への献上茶を運ぶ道中行列は大名行列より権威があり、大名や沿道の人々にも恐れられていた。

トピックス

中山道加納宿まちづくり交流センター

旧加納町役場(岐阜市加納本町)の跡地に、令和2(2020)年10月14日より開館。加納宿を中心とした中山道沿道の歴史文化の継承を図り、地域のまちづくり活動や地域交流の促進の場として設立。

まち歩きなど中山道を訪れる方へのトイレの 提供や、休憩スペースとしても利用できる。また、 会議室も備えており、使用することができる。





ごうどじゅく 河渡宿

河渡宿は長良川の渡しで栄えた宿場。当時は洪水に苦しめられており、宿場全体の地上げ工事を行い、その記念碑がかつて「河渡の一里塚」があったあたりに残っている。河渡宿は、戦時中の焼失や、長良川の河川改修により往時を偲ばせる旧家は残っていない。



ばとうかんのんどう あいぜんどう ■馬頭観音堂 [愛染堂]

美濃十六宿最大の石造り観音像で、高さは1.7m。天保 13 (1842) 年、中山道を通行する旅人や荷を運ぶ牛馬の安 全を願って、河渡宿の人々がお金を出し合って造ったもの。 当時は河渡の渡しの脇に大きなお堂が建てられ、舟を待つ 人々の休憩所としても利用されていた。しかし、現在は、 新しい堤防ができたため長良川堤の住宅地の一角に移設さ れた。



4 その他の街道

岐阜市内には、五街道の中山道のほかにも鮎鮨を江戸幕府に献上するのに利用されていた「御鮨街道」や中山道・垂井宿と東海道・宮宿を結ぶ脇街道である「美濃路」などの街道が通っており、当時の人々の営みを支えていた。



御鮨街道

ぉ すしかいどう

江戸時代、尾張藩が岐阜の特産品の1つとして鮎の熟鮨を幕府に献上する際に利用されていた街道である。鮎の熟鮨は他の藩からも献上されていたが、岐阜のものが量・質ともに最も優れていたといわれる。元来の道は、岐阜街道で、地域の愛称として「御鮨街道」、「鮎鮨街道」などと呼ばれる。御鮨街道と認識されているのは、稲沢市内で美濃路と合流するまで(約26km)が一般的である。岐阜県内では、笠松湊跡までが街道である。起点は鵜飼が営まれる湊町付近、御鮨所のあった益屋町付近という二説がある。当時の道のほとんどが残されており、現在も利用されている。

●業濃路

東海道の宮(熱田)宿から、中山道の垂井宿を結ぶ全長約57.5kmの街道。慶長5 (1600) 年、徳川家康が関ケ原の戦いの凱旋の帰路、この道を通ったことから「お悦び街道」とも呼ばれる。将軍家をはじめ、朝鮮通信使、琉球使節などの人たちも往来した。

■東山道

五畿七道の一つで、古代の律令時代に整備された官道。近江・美濃・飛騨・信濃・上野・下野・出羽・陸奥を通る。岐阜市地域のルートは、又丸、木田、正木、長良を通っており、長良あたりに方県駅を置いたといわれている。

ぐ じょうかいどう ■郡上街道

加納宿から郡上八幡、白鳥を経て、石徹白に至る街道。古くは白山信仰の道でもあった。

※この他にも、岐阜市内には「御成街道(尾張藩主が岐阜町来訪のおり通った道)」や「京道(鏡島湊から岐阜町への道)」などの街道もある。